

科 目 名

環境衛生化学

Environmental Hygienic Chemistry

3年 後期 2単位 必須

武 知 進 士

概 要

人の生活環境は化学的、物理学的、生物学的、社会的環境に取り囲まれている。これら要因のうち、健康に影響を及ぼす環境汚染物質や環境破壊の実体について薬学的見地から解説する。

目 標

我々の生活環境を快適かつ健康的に維持し、さらに、その質的向上の基盤となる生態系と衛生に関する理論と実際の手法について修得する。

授業計画

1. 化学物質の代謝〈C12(1)-1-1〉
2. 化学物質の代謝的活性化〈C12(1)-1-2～3〉
3. 化学物質による発がん〈C12(1)-2-1～3〉
4. 化学物質の毒性〈C12(1)-3-2～8〉
5. 化学物質による中毒と処置〈C12(1)-4-1〉
6. 薬毒物中毒と検出法〈C12(1)-3-1〉
7. 電離放射線の生体への影響〈C12(1)-5-1～6〉
8. 非電離放射線の生体への影響〈C12(1)-6-1～3〉
9. 地球環境と生態系〈C12(2)-1-1),2),4)～7)〉
10. 水環境〈C12(2)-2-1)～6,8)〉
11. 大気環境〈C12(2)-3-1)～4)〉
12. 室内環境〈C12(2)-4-1)～4)〉
13. 廃棄物〈C12(2)-5-1),2),4),5)〉
14. 環境保全と法的規制〈C12(2)-6-1)～4)〉

授業方法

講義を中心に、プリント、視聴覚機材を使用する。
講義スライドは E-Learning (WebClass) で公開する。

評価方法

定期試験の成績および受講態度、出席率により総合的に評価する。

教 材

教科書：新井洋由、早川和一 編「衛生薬学 健康と環境」廣川書店
参考書：日本薬学会 編「衛生試験法・注解」金原出版

履修上の注意

衛生薬学のみならず、他分野との関連づけた学習が必要。